

東京大学大学院工学系研究科附属水環境工学研究センター 特任研究員 募集のお知らせ

「国際下水疫学」社会連携講座では、下水道インフラを活用した網羅的公衆衛生情報取得手段である下水疫学調査の社会実装と水中病原微生物のリスク管理のための技術開発として、病原体の検出技術の高度化、ゲノム解析、疫学解析およびリスク評価等に関する研究を推進するとともに、国内外での実証調査に関する研究を実施する。

- 職名及び人数： 特任研究員（特定有期雇用教職員） 1名
- 契約期間： 2024年9月1日以降のできるだけ早い時期～2025年3月31日
- 更新の有無： 予算の状況、従事している業務の進捗状況、契約期間満了時の業務量、勤務成績、勤務態度、健康状況等を考慮の上、年度単位により更新する場合があります。
ただし、更新は2回、2027年3月31日までを限度とする。
- 試用期間： 採用された日から14日間。
- 就業場所： 東京大学浅野キャンパス（東京都文京区弥生2-11-16）
最寄駅：地下鉄千代田線 根津駅 徒歩2分
南北線 東大前駅 徒歩10分
丸の内線 本郷三丁目駅 徒歩17分
※変更の範囲：原則同一部局内
工学系研究科附属 水環境工学研究センター
「国際下水疫学」社会連携講座
※業務の都合により変更することがある。
- 業務内容： 「国際下水疫学」社会連携講座において、水中ウイルス測定法の開発もしくは薬剤耐性菌及び遺伝子の測定法の開発に関する研究を推進する。
※変更の範囲：配置換、兼務及び出向を命じることがある。
- 就業日・就業時間： 専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分・週5日勤務したものとみなされる。
- 休日： 土日、祝日法に基づく休日、12月29日～1月3日は休日。
- 休暇： ① 年次有給休暇 就業規則に基づき付与
② 特別休暇 就業規則に基づき付与
- 賃金等： 年俸制を適用し、業績・成果手当を含め、月額32万円～42万円の範囲で、資格、経験等に応じて決定。
通勤手当（当方で定める支給要件を満たした場合は、当方規定により算定した額を支給、最高55,000円/月）
退職手当、賞与は無し。
原則毎月17日支給。
- 加入保険： 文部科学省共済組合、雇用保険に加入。
- 災害補償： 労働上の災害や通勤時の災害については、労働者災害補償保険法および東京大学教職員法定外災害補償規程により補償。
- 応募資格： 業務内容に関連する分野の博士号を有する者、または着任までに取得見込みの者。
- 応募書類： ① 東京大学統一履歴書（以下のURLからダウンロードし、作成すること。）
（<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html>）
② 業績リスト（雑誌論文、口頭発表）
③ 主要論文（3報以内）
④ これまでの研究概要（A4で1～2枚程度（図を含めてよい））
⑤ 所見を伺える方2名の氏名と連絡先（メールアドレスを含む）
- 応募方法： 上記書類をzip等1つの電子ファイルにまとめ、以下のJREC-IN Portalサイトにアップロードすること。
<https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?id=D124040116>
- 応募締切： 2024年5月31日（金）必着 ただし、締め切り前であっても随時選考を行う。
書類選考の後、面接試験受験の可否を連絡します。
- 問い合わせ先： 〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1
大学院工学系研究科附属 水環境工学研究センター
E-mail: sec-recwet@env.t.u-tokyo.ac.jp
- 募集者名称： 国立大学法人東京大学
- 受動喫煙防止措置の状況： 敷地内禁煙（屋外に喫煙場所あり）
- 留意事項： 採用時点で、外国法人、外国政府等と個人として契約している場合や、外国政府等から金銭その他の重大な利益を得ている場合、外為法の定めにより、一定の技術の共有が制限され、結果として本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性がある。このような場合、当該契約・利益については、職務に必要な技術の共有に支障のない範囲に留める必要がある。
- その他： 応募書類は本応募の用途に限り使用し、個人情報とは正当な理由なく第三者への開示、譲渡及び貸与することは一切ありません。
応募書類の返却はいたしません。当方で責任を持って廃棄します。
勤務条件の詳細は、東京大学特定有期雇用教職員就業規則等をご覧ください。
（http://www.u-tokyo.ac.jp/gen01/reiki_int/kisoku_mokuji_j.html）
東京大学は男女共同参画を推進しており、女性の積極的な応募を歓迎します。